

# 都会の鳥のさえずり:騒音への適応?

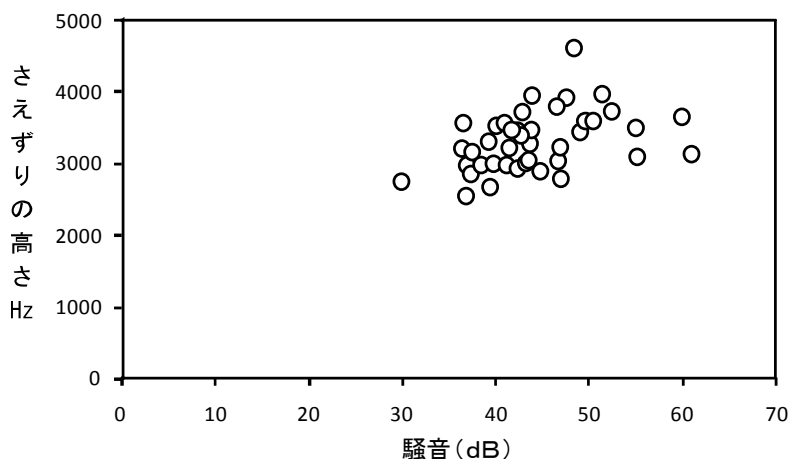
○植田睦之 (バードリサーチ)

鳥類のさえずりは、音が相手にしっかりと聞こえるように、周囲の環境に対して声の高さや鳴き方などを変えていることが知られている。都市では自動車や工場などの人工的な騒音がさえずりの伝達を阻害する要因となっている。都市騒音は主に低い周波数にあるので、シジュウカラやウタスズメが高い音でさえずることで騒音の影響を避けている可能性が示されている。

2007年3月下旬から4月上旬、東京都中西部の住宅地においてシジュウカラとキジバトのさえずりを録音し、騒音との関係を調査した。シジュウカラについては騒音とさえずりの高さのあいだに正の相関が認められたが、キジバトについては認められなかった。また、シジュウカラがCD音源の再生実験に対して反応した声は、もともとさえずっていた声よりもやや低く、その声の高さについては騒音の間に相関は認められなかった。

シジュウカラについては騒音に対して声を高くしている可能性が考えられた。しかし、騒音が少ない大きな林はシジュウカラが多く、また、騒音が多い場所は小さな林や住宅街で周囲にシジュウカラが少ないことが多いので、プレーバックへの反応のように、周囲のシジュウカラの多少が声の高低に効いていたために、騒音とのあいだに見かけ上の相関が生じていた可能性も否定できない。騒音との関係を明らかにするためには、さらに詳細な調査が必要だろう。

キジバトについては騒音との相関が認められなかった。キジバトのさえずりの高さはもともと声が低く、多少高くなっても都市騒音の影響を避けることが出来ない。そのため相関がなかったのかもしれない。



シジュウカラのさえずりと騒音の関係